

# 企業向け FAQ (一般的な質問)

MSCI ESG Research LLC

ESG Issuer Communications Team

**March 2020**

**Contents**

- 1 はじめに..... 4
- 2 一般的な質問 ..... 4
  - 2.1 MSCI ESG リサーチとは? ..... 4
  - 2.2 MSCI ESG リサーチの顧客とは? ..... 4
  - 2.3 自社について MSCI ESG リサーチが発行しているレポートにはどのようなものがあるか? ..... 5
  - 2.4 投資家は MSCI ESG リサーチのデータや分析をどのように利用しているか? ..... 5
  - 2.5 MSCI ESG リサーチの顧客は、どのようにして発行体のレポートやデータにアクセスできるか? ..... 6
  - 2.6 発行体はどのようにして MSCI ESG リサーチのレポートにアクセスできるか? また、費用はかかるか? ..... 6
  - 2.7 同業他社の報告書にはどのようにしてアクセスできるか? また、費用はかかるか? ..... 6
  - 2.8 対話を始めるための紹介挨拶の電話やミーティングの手配はどのようにすればよいか? ..... 7
  - 2.9 アナリストは発行体と直接話をすることができるか? ..... 7
  - 2.10 MSCI ESG リサーチは、分析・格付けモデルに TCFD、SASB、GRI などの開示フレームワークを使用しているか? ..... 8
  - 2.11 発行体は、MSCI ESG 格付けを公表することができるか? ..... 8
  - 2.12 MSCI ESG リサーチはどのようにして格付けする企業を決定しているのか? ..... 9
- 3 MSCI ESG リサーチプロセスの質問 ..... 9
  - 3.1 MSCI ESG リサーチは、いつ企業調査を更新するのか? ..... 9
  - 3.2 いつ MSCI ESG リサーチのレポートに対してフィードバックできるのか? ..... 10

|  |    |
|--|----|
| 3.3 企業はどのようにして評価に対するコメントやフィードバックを提出するのか? .....                                 | 11 |
| 3.4 MSCI ESG リサーチの格付けはいつ頃行われるか? .....  | 11 |
| 3.5 MSCI ESG リサーチが使用しているデータソースは? 評価は企業の開示のみに基づいているのか? .....                    | 12 |
| 3.6 MSCI ESG リサーチでは、テクノロジーや AI をどのように活用しているのか? .....                           | 13 |
| 3.7 共有したい情報/フィードバックはあるが、公開されていない。これは考慮されるのか? .....                             | 14 |
| 3.8 過去の ESG 格付けレポート (過去 4~5 年分) を閲覧したい ....                                    | 14 |
| 3.9 MSCI ESG 評価を改善するにはどうすればよいか? 格付けを向上させたいが、MSCI ESG リサーチをより効果的に活用する方法はあるか? 14 |    |
| 3.10 MSCI ESG リサーチは、企業に対する啓発的な取り組みを行っているか? .....                               | 14 |
| 付録 1 -ESG 発行体コミュニケーションのガイドライン .....  | 16 |
| 企業にご案内している事項.....  | 16 |
| 企業にご案内していない事項 .....  | 16 |
| ABOUT MSCI .....   | 17 |

## 1 はじめに

MSCI ESG Research LLC（以下、MSCI ESG リサーチ）では、MSCI ESG リサーチが評価を行うすべての企業の窓口として、MSCI 発行体コミュニケーションチームを設置しております。この専任チームは、発行体企業からの ESG 評価に関する質問に対応し、標準化された体系的な、発行体による ESG データレビュープロセスを管理しています。

本文書は、MSCI ESG リサーチ、MSCI の各種企業調査レポート、発行体との対話プロセスについて、発行体からよく寄せられる質問に答えることを目的としています。MSCI ESG リサーチレポートの基礎となるメソドロジーに関する質問については、メソドロジーガイドをご参照ください。なお、これらの資料は定期的に更新する予定です。

## 2 一般的な質問

### 2.1 MSCI ESG リサーチとは？

MSCI ESG リサーチは、世界中の数千社の環境、社会、ガバナンスに関連する企業の業務について、詳細な調査、格付け、分析を提供しています。MSCI の調査は、機関投資家が従来の投資調査では見落としがちなリスクや機会を見極めるのに役立つ、重要な洞察を提供することを目的としています。

ESG 投資詳細については、当社のウェブサイト <https://www.msci.com/esg-investing> をご覧ください。

また、MSCI ESG 格付けについては <https://www.msci.com/esg-ratings> をご覧ください。

### 2.2 MSCI ESG リサーチの顧客とは？

MSCI ESG リサーチでは、グローバルのアセットマネージャーのうち、上位 50 社中 46 社<sup>1</sup>を含む 1,400 以上の顧客をもち、世界中の機関投資家が ESG 投資の目標を達成できるようサポートしています。

<sup>1</sup> 2019 年 3 月時点（資産運用残高ベース）

## 2.3 MSCI ESG リサーチが発行しているレポートにはどのようなものがあるか？

MSCI ESG リサーチでは、ESG に関連する様々な企業のデータを収集・調査し公表しています：

- **MSCI ESG Ratings report:** 投資家が、当該企業の ESG のリスクと機会を特定できるように設計されています。インダストリー特有の ESG リスクにさらされている度合、また、これらのリスクを管理する能力を、同業他社との比較をもとに分析し、'AAA'から'CCC'までの7段階で評価を行います。
- **MSCI ESG Controversies report:** ESG に関する主要な不祥事に対する企業の関与や、国際的な規範や原則への違反の疑いを特定し、評価しています。
- **MSCI ESG Governance Metrics report:** MSCI ESG ガバナンス・メトリクスは、世界の 8,000 社以上の上場企業のコーポレート・ガバナンスに関する調査とデータを提供しています。評価モデルは、4 つのスコアリングの柱（取締役会、報酬、株主と支配、会計）に整理された独自のメトリクスに基づいています。会計セクションは、MSCI AGR モデルに基づいて評価され、投資家が財務情報に関わるリスクを定量化できるよう設計されています。
- **MSCI ESG Research Business Involvement Screening Research (BISR):** 兵器製造やたばこ製品、あるいは、カトリックやイスラムの価値観など宗教上の教義に反する活動に関与する企業の特定を可能とするスクリーニングサービスです。

## 2.4 投資家は MSCI ESG リサーチのデータや分析をどのように利用しているか？

MSCI ESG リサーチのデータ、分析、洞察は、機関投資家の投資目的や戦略、マニフェストに応じて、様々な方法で利用されています。MSCI では、ESG 戦略を検討する際の、投資家の共通の目的や動機として、以下の 3 つを挙げています：

- **Values-based investing** 価値観に基づいた投資は、投資対象となる業界や企業に対する優先事項を示すことで、組織や個人の倫理的価値観に沿った投資を行うことを目的としています。このような投資家は、倫理的、宗教的、環境的、社会的、その他の価値観に基づく信念に反する事業活動を行っている企業を避けるために、価値観に基づく除外という形で投資を行うことがあります。価値観に基づく除外は、経済的な理由では実施されません。

- **Impact investing** インパクト投資は、投資家の見解や使命に沿って、社会や環境にプラスの影響を与えることを目的とした投資を行います。これらの戦略では、ポジティブなインパクトを財務的リターンと同等かそれよりも優先させる場合があります、そのため、リスク調整後の高いリターンを求めている場合もあります。
- **ESG integration** ESG インテグレーションは、長期的なリスク調整後リターンを向上させることを具体的な目的として、回復力があり持続可能なポートフォリオを構築するための中核的な要素として、ESG 問題に関連する長期的な財務リスクと機会を評価することを目的としています。

これら 3 つのアプローチはそれぞれ異なる目的を持っていますが、相互に排他的なものではなく、投資家はそれぞれのアプローチの要素を組み合わせる場合もあります。

## 2.5 MSCI ESG リサーチの顧客は、どのようにして発行体のレポートやデータにアクセスできるか？

MSCI ESG リサーチの顧客は、当社顧客向けの有料プラットフォームである ESG マネージャーのほか、データフィードなどについては様々な第三者配信業者を通じて、MSCI ESG リサーチのリサーチレポートや調査データにアクセスすることができます。

## 2.6 発行体は、どのようにして MSCI ESG リサーチのレポートにアクセスできるか？また、費用はかかるか？

発行体は、当社の発行体向けポータルサイト (<https://esgicp.msci.com/>) にログインし、いつでも自社のレポートにアクセスすることができます。ログインに問題がある場合は、ESG 発行体コミュニケーションチーム ([esgissuercomm@msci.com](mailto:esgissuercomm@msci.com)) までご連絡ください。ポータルサイト使用に際し、費用は発生しません。

## 2.7 同業他社のレポートにはどのようにしてアクセスできるか？また、費用はかかるか？

同業他社レポートおよび業界レポートは、有料の顧客向け製品でのみ利用可能です。ご契約をご希望の場合は、当社のコーポレートセールスチーム ([esg\\_corporate\\_sales@msci.com](mailto:esg_corporate_sales@msci.com)) までお問い合わせください。

## 2.8 対話を始めるための紹介挨拶の電話やミーティングの手配はどのようにすればよいか？

発行体の MSCI ESG リサーチへの関心はいつでも歓迎しておりますが、MSCI ESG リサーチでは調査・格付対象のすべての発行体に対して、効率的かつ公正なコミュニケーションを確保するよう努めています。そのため、通常、発行体との一般的なご挨拶やご紹介ミーティングを開催することはできません。その代わりに、発行体の皆様には、当該 FAQ 資料や[発行体企業向けポータルサイト](#)に掲載されているその他の資料をご確認いただき、特定のご質問やご懸念事項がありましたら、E メール ([esgissuercomm@msci.com](mailto:esgissuercomm@msci.com)) またはポータルの「Ask Us」タブからご連絡いただくことをお勧めしています。

なお、MSCI ESG リサーチは公開情報のみを使用します。当社の ESG 格付け調査では、アンケート調査は実施しておらず、インタビューも行っておりません。

発行体企業にご案内していること、していないことについては、付録 1 をご覧ください。

## 2.9 アナリストは発行体と直接話をするができるか？

MSCI ESG リサーチは、当社の企業調査の要素となる膨大な量のデータを収集しています。代替データソースの活用に加え、アナリストチームは、テーマ別、地域別、業界別の専門性に基づいて構成されています。例えば、ガバナンス データ専門のアナリスト、専任の不祥事案件調査チーム、カーボンデータアナリストなどがいます。このようなマトリクス型のアプローチは、評価プロセスの客観性を高めることにつながると考えています。

企業とアナリストが各発行体と 1 対 1 の関係にあるわけではないため、まず発行体の皆様には、関連する MSCI ESG リサーチのデータをすべて確認していただき、ポータルサイトを通じてコメントやフィードバックを送っていただくようお願いしております。フィードバックコメントを確認した後、内容の明確化のために直接の議論が必要な場合には、当社のアナリスト・チームの関連するメンバーと、よりのを絞った、あるいはより詳細な対話を行うための場を設けさせていただきます。

また、発行体向けのセミナー等を通して、専門アナリストチームと企業とが公平かつ公正な方法で接する機会の創出に取り組んでいます。2020 年もこれらの取り組みを継続し、世界各地で発行体向けイベントを計画しています。

## 2.10 MSCI ESG リサーチは、分析・格付けモデルに TCFD、SASB、GRI などの開示フレームワークを使用しているか？

MSCI ESG リサーチは、ESG に関連する情報とデータの開示を支持しています。私たちは、企業のより良く、より意味のある ESG 開示を促進する取り組みを歓迎します。過去数年間にわたり、MSCI は、当社の格付け手法による評価をグローバルに共有することによって情報開示のイニシアティブに取り組んできました。例えば、MSCI ESG アナリストは SASB の報告の枠組みについてのフィードバックを提供しただけでなく、TCFD に気候リスクに関する専門知識を共有しました。また、MSCI の代表者は、報告イニシアティブと連携して様々な業界イベントに参加しています。

MSCI の指標は、これらのイニシアティブの指標と重なる部分がありますが（例えば、炭素排出量の重要課題は TCFD 報告枠組みの多くの側面をカバーしています）私たちは一つのフレームワークをより重視することはありません。SASB、TCFD、GRI、CDP などのイニシアティブは、企業にとって有用な指針を提供しています。一方、MSCI ESG リサーチは、40 年以上の ESG における経験により、機関投資家がポートフォリオ内の主要な ESG リスクと機会を特定できるよう、機関投資家に格付けと調査を提供しています。

MSCI およびその子会社は、企業に対して、開示すべき内容や特定の ESG 情報の報告方法について助言をしたり、相談を受けることはしておりません。

## 2.11 発行体は、MSCI ESG 格付けを公表することができるか？

発行体は、MSCI ESG 格付バッジ (AAA-CCC) を開示資料 (アニュアルレポート、サステナビリティレポート、投資家向けプレゼンテーション、企業ウェブサイトなど) に掲示いただくことができます。[こちら](#)をクリックしてオンラインフォームに必要事項を入力し、ご利用条件をご確認ください。申請書を送信いただきますと、MSCI の担当者より、関連する ESG 格付ロゴとあわせて [MSCI ESG 格付の参照方法ガイド](#)をご案内します。

MSCI ESG 格付を資金調達目的で使用する場合は、別途ライセンスが必要となりますのでご注意ください。資金調達において MSCI ESG 格付をご利用になりたい場合は、当社のコーポレートセールスチーム ([esg\\_corporate\\_sales@msci.com](mailto:esg_corporate_sales@msci.com)) までご連絡ください。

## 2.12 MSCI ESG リサーチはどのようにして格付けする企業を決定しているのか？

MSCI ESG リサーチは、株式と債券発行体の両方を格付けしています。株式の発行体では、MSCI は主に MSCI マーケット・キャピタル・インデックスの構成銘柄を対象としています。債券では、バークレイズ・グローバル・アグリゲート・インデックスを構成する発行体を対象としています。MSCI ESG リサーチでは企業からの依頼に基づく格付けは行っておりません。貴社が MSCI スタンダード指数または MSCI ESG 指数のいずれかの構成銘柄であるか否かの確認、または企業報告書に使用する MSCI ESG 指数のロゴをご希望の方は、clientservice@msci.com までご連絡ください。

## 3 MSCI ESG リサーチプロセスの質問

### 3.1 MSCI ESG リサーチは、いつ企業調査を更新するのか？

MSCI ESG リサーチでは、よりタイムリーな情報を基礎データ、コンテンツ、分析に反映させるため、企業の開示スケジュール（有価証券報告書、CSR レポート、サステナビリティレポートの開示）に合わせた ESG 格付け更新を進めております。そのため、企業の ESG データはより頻繁に更新されており、更新日は MSCI の ESG 格付けレポート（1 ページ目）の「LAST UPDATE」で確認できます。

**LAST UPDATE: January 09, 2020**

さらに、少なくとも年 1 回、各企業についての包括的な詳細格付け評価を行っております。年次格付け評価実施日については MSCI ESG 格付けレポート（1 ページ目）の「Rating action date」で確認できます。

**Last ESG Rating action**

**Rating action date: August 05, 2019**

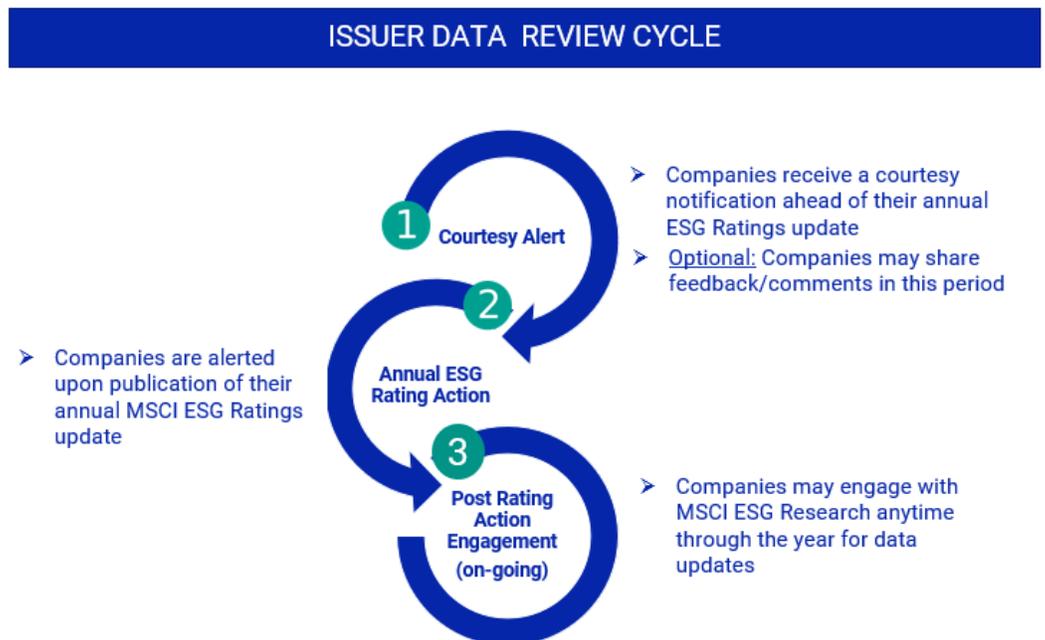
格付けの基礎となるデータは、より頻繁に更新されることがあるため、「LAST UPDATE」が「Rating action date」よりも最新の日付となる場合が多くあります。基礎データの更新には、不祥事案件の進捗更新、ガバナンスの更新、企業からのフィードバックに基づくデータの修正などが含まれます。これらの更新により、大幅なスコア変動がある場合は、当社のメソドロジーおよび社内規定とプロセスに従い、アナリストによるレビューと格付け見直しが行われます。

**3.2** いつ MSCI ESG リサーチのレポートに対してフィードバックできるのか？

MSCI ESG リサーチでは、主要な調査において、いくつかのデータレビュー/検証プロセスを設けています。主に、MSCI ESG 格付けの年 1 回の詳細レビューのタイミングを中心に、積極的なデータ検証を実施しています。これには、不祥事調査を含む環境、社会、ガバナンスの問題に関するデータや情報が対象となります。

年次 MSCI ESG 格付け更新の前に、アラートメールの送付により企業への通知を行っています。ただし、調査に先立っての企業からのフィードバック提供は必須ではなく、フィードバック提出の期限も設けておりません。また、公表前のドラフトデータやレポートは提供しておりません。年次格付更新が完了すると、企業に再度自動通知が送付されます。企業はデータの更新や評価内容の質問のために、いつでも（継続的に）MSCI ESG リサーチにご連絡いただけます（図 1 参照）。企業からの ESG 評価に対するフィードバックは常に受け付けております。

図 1:



### 3.3 企業はどのようにして評価に対するコメントやフィードバックを提出するのか？

企業はいつでもコメントやフィードバックを [esgissuercomm@msci.com](mailto:esgissuercomm@msci.com) の E メール、または発行体コミュニケーション・ポータルでのデジタルデータ検証 (DV) フォームからお送りいただけます。

企業は、発行体コミュニケーション・ポータルの「MY DATA」セクションにおいて、デジタルデータ検証(DV)フォームを利用して、いつでもコメントやフィードバックを提供することができます。また、当該セクションにて、企業がフィードバックを行う方法詳細についてご確認ください。フィードバックをご提供いただく際には、以下の手順に従っていただくようお願いいたします。

- MY DATA セクションでは、鉛筆のアイコンをクリックして評価項目を編集し、公開されている関連開示情報へのウェブリンクを添えてコメントを追加することができます。
- 各キーイシューのデータを確認し、編集した後、各ページの下部にある保存 (Save) アイコンを押します。
- 全てのフィードバックを送信する準備が完了しましたら、送信 (Submit) ボタンを押してください。

通常、フィードバック提出後 4～6 週間以内に、更新作業 (各コメントの承認可否) が企業に通知されます。

ご質問がある場合は、ポータル関連の [FAQ](#) をお読みください。技術的な問題やその他のご質問は、ESG 発行体コミュニケーションチーム ([esgissuercomm@msci.com](mailto:esgissuercomm@msci.com)) までお問い合わせください。

### 3.4 MSCI ESG リサーチの格付けはいつ頃行われるか？

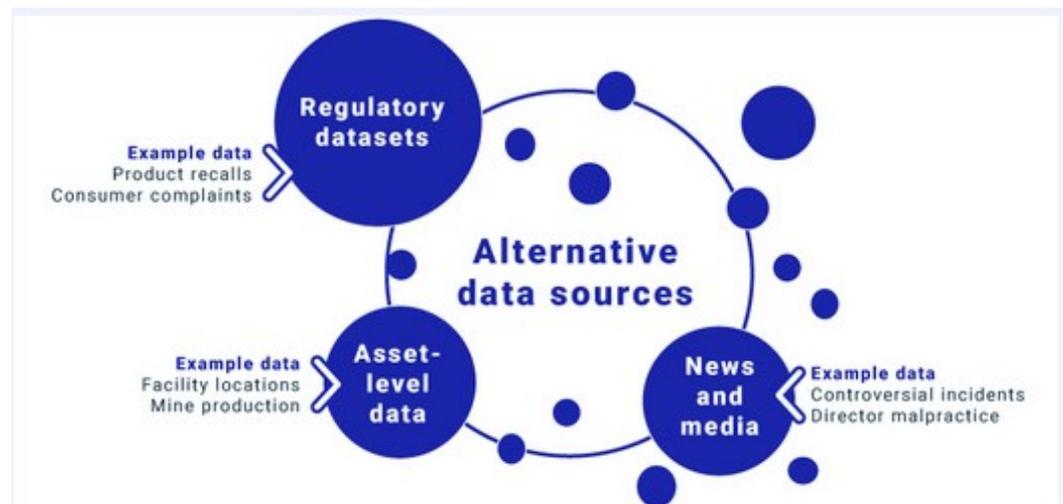
企業開示時期に沿った格付け更新スケジュールへの移行に伴い、MSCI ACWI ユニバースに含まれる企業については、新たな関連情報の開示から 4 ヶ月以内に年次の詳細な ESG 格付けレビューを完了させることを目指しています。それ以外のすべての企業については、通常、前回の評価から 12 ヶ月以内に格付けが更新されます。Q.3.2 の説明にあるように、発行体には、年次調査の前に MSCI ESG 発行体コミュニケーションチームからアラート通知が送られます。

**3.5 MSCI ESG** リサーチが使用しているデータソースは？評価は企業の開示のみに基づいているのか？

MSCI ESG リサーチは、様々な情報源から公開データを収集しています（図 2 参照）。情報源には以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 専門的な学術、政府、NGO のデータセット
- 会社の開示（サステナビリティレポート、プロキシレポートなど）
- グローバルおよびローカルのメディアとニュースソース

図 2.

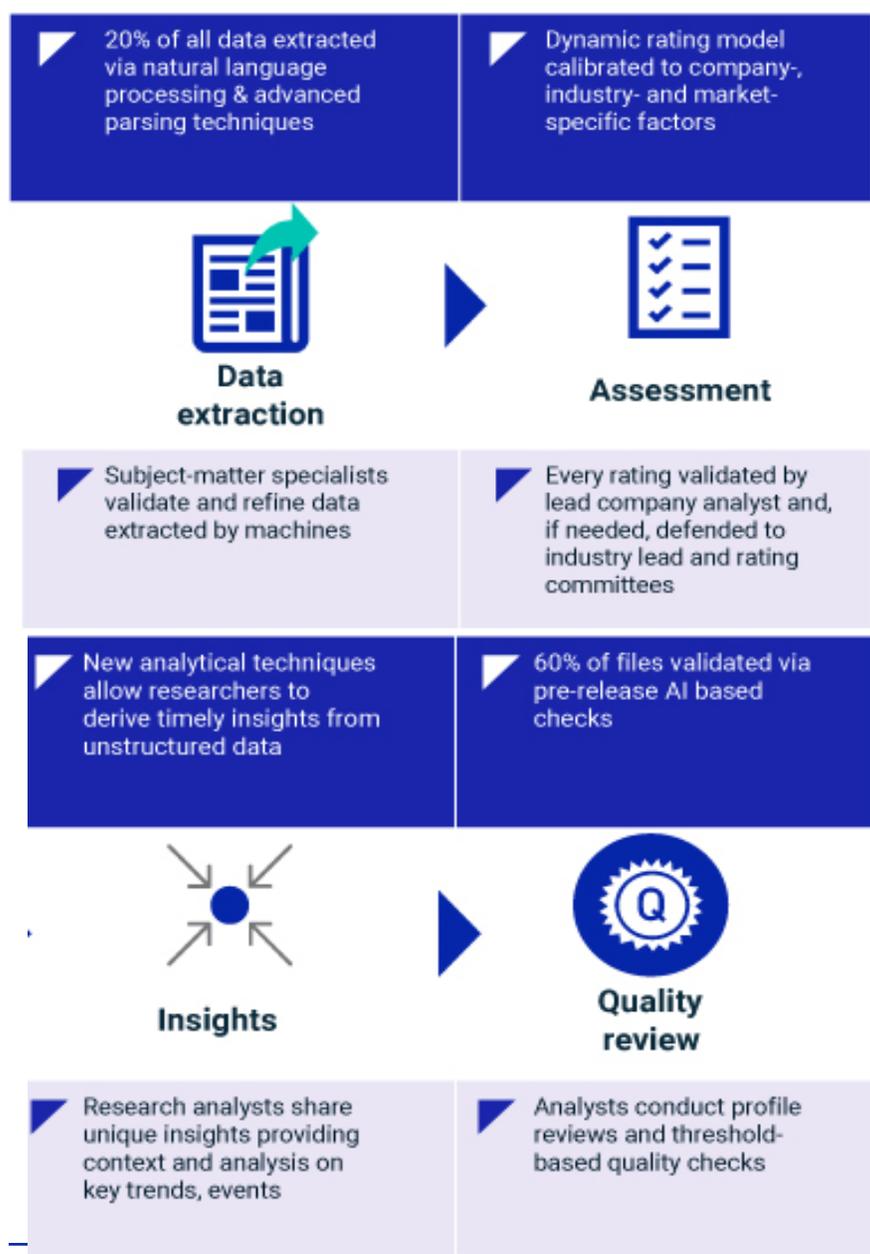


MSCI ESG 格付けの評価は、企業の自主的な開示情報のみに基づいているわけではありません。平均して、企業の MSCI ESG 格付けのうち約 35% が、その企業の ESG 関連の開示情報を基にしています（ESG 格付けのデータ内訳については、[こちら](#)からアクセスいただける「2018 ESG Trends to Watch」をご覧ください。）。MSCI では、自主的な開示による情報を裏付け、発展させ、企業の ESG リスクプロファイルに関する客観的な見解を機関投資家に提供するため、開示情報以外のデータセットも使用しています。企業の ESG パフォーマンスを正確に評価するためには、企業による有意義なデータのさらなる開示が必要であり、望まれています。投資家が企業の潜在的な ESG リスクと機会を評価するためには、自主的な企業開示情報だけでは十分ではありません。

**3.6 MSCI ESG** リサーチでは、テクノロジーや **AI** をどのように活用しているのか？

MSCI ESG リサーチでは、構造化されていないデータから投資関連の洞察を得るためにテクノロジーを活用しています。例えば、機械学習や自然言語処理は、データ収集、分析、検証の適時性と精度を高め、ダイナミックなコンテンツの提供に役立っています。(図 3 参照)

図 3:



**3.7 共有したい情報/フィードバックはあるが、公開されていない。これは考慮されるのか？**

いいえ、MSCI ESG リサーチは公開情報のみを使用しています。市場の透明性の観点から、すべての市場参加者が利用できるように ESG 情報が公開されることを強く支持しています。内部情報や機密情報は一切使用しません。共有いただくフィードバックには、情報が公開されている場所への（ウェブ上の）リンクを添えていただくようお願いいたします。

**3.8 過去の ESG 格付けレポート（過去 4~5 年分）を閲覧したい**

残念ながら、現時点ではご提供していません。当社のシステムでは、最新のレポートのみが表示されます。ただし、MSCI ESG 格付けレポートにて、過去の格付けを確認することができます。

**3.9 MSCI ESG 評価を改善するにはどうすればよいか？格付けを向上させたいが、MSCI ESG リサーチをより効果的に活用する方法はあるか？**

利益相反を避けるために、MSCI ESG リサーチでは、企業が格付けやその他の MSCI ESG 評価を向上させる方法について、助言やコンサルティングを行うことはありません。

ESG 格付けレポートでは、評価モデルへのアプローチや指標の多くについての洞察を含め、評価に関する詳細な情報を提供しています。このレポートは、主要な ESG 課題に関する、企業の一般的な強みと弱みを理解するために活用することができます。

発行体コミュニケーションの手引き概要については、付録 1 をご参照ください。

**3.10 MSCI ESG リサーチは、企業に対する啓発的な取り組みを行ってるか？**

データ検証プロセスを通じた発行体とのやりとりに加え、MSCI ESG リサーチの評価手法に関連する事項だけでなく、より一般的な ESG 投資や、投資家が投資プロセスの中で ESG 問題にどのように取り組んでいるかについてなど、企業への情報・知識共有の中心としての役割を果たしています。また、企業向けのリソースライブラリ（FAQ やウェビナーなど）を構築し、業界イベントに積極的に参加するとともに、世界各地の発行体向けに MSCI 主導のセミナーを開催しています。

2019 年、ESG 発行体コミュニケーションチームは、発行体が主な参加者となる 30 以上のイベントで講演を行いました。場所はアムステルダム、バンコク、ボストン、ロンドン、~~+~~ニューヨーク、フェニックス、サンディエゴ、シンガポール、東京などでした。その他にも、コーポレート・ガバナンスに関するウェビナーなど、オンライン上でのイベントも複数開催しました。また、各セクターの企業が直面している新たな ESG 課題についての洞察を求め、より深い対話を行うために、インダストリーラウンドテーブルを複数回開催し、今後も継続して実施する予定です。

## 付録 1 -ESG 発行体コミュニケーションのガイドライン

MSCI ESG リサーチは、発行体データの正確性を確保することに主眼を置いており、透明性の観点から、当社の調査・分析の基礎となる検証可能なすべてのデータを企業に提供し、いつでも確認できるように努めています。企業は、発行体コミュニケーションポータルを通じて、いつでも **MSCI ESG** リサーチレポートの全文にアクセスいただけます。また、当社では、リサーチレポート、評価メソドロジー、プロセスについての企業からの問い合わせにタイムリーに対応するよう努めています。以下に、当社が企業との対話を行うことができる項目とできない項目についての一般的なガイダンスを記載します。

### 企業にご案内している事項

- 主要製品のメソドロジー概要
- 基本的なメソドロジーに関する質問への回答、例として:
  - 格付けの構成概要 (例: リスクエクスポージャーVS リスク管理)
  - データポイントの概要/定義/説明
  - 一般的なデータソース
- レポート形式についての基本的な質問への回答
- 様々な調査やレポート更新時期、データ検証などプロセスに関する質問への回答

### 企業にご案内していない事項

- どのように格付けや ESG の開示を改善させるか
- 他社評価について
- ESG リスクに対処または報告するためのアドバイザーまたはコンサルティングソリューション

## Contact us

clientservice@msci.com

### AMERICAS

|               |                   |
|---------------|-------------------|
| Americas      | 1 888 588 4567 *  |
| Atlanta       | + 1 404 551 3212  |
| Boston        | + 1 617 532 0920  |
| Chicago       | + 1 312 675 0545  |
| Monterrey     | + 52 81 1253 4020 |
| New York      | + 1 212 804 3901  |
| San Francisco | + 1 415 836 8800  |
| São Paulo     | + 55 11 3706 1360 |
| Toronto       | + 1 416 628 1007  |

### EUROPE, MIDDLE EAST & AFRICA

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| Cape Town | + 27 21 673 0100   |
| Frankfurt | + 49 69 133 859 00 |
| Geneva    | + 41 22 817 9777   |
| London    | + 44 20 7618 2222  |
| Milan     | + 39 02 5849 0415  |
| Paris     | 0800 91 59 17 *    |

### ASIA PACIFIC

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| China North | 10800 852 1032 *      |
| China South | 10800 152 1032 *      |
| Hong Kong   | + 852 2844 9333       |
| Mumbai      | + 91 22 6784 9160     |
| Seoul       | 00798 8521 3392 *     |
| Singapore   | 800 852 3749 *        |
| Sydney      | + 61 2 9033 9333      |
| Taipei      | 008 0112 7513 *       |
| Thailand    | 0018 0015 6207 7181 * |
| Tokyo       | + 81 3 5290 1555      |

\* = toll free

## ABOUT MSCI

MSCI is a leading provider of critical decision support tools and services for the global investment community. With over 45 years of expertise in research, data and technology, we power better investment decisions by enabling clients to understand and analyze key drivers of risk and return and confidently build more effective portfolios. We create industry-leading research-enhanced solutions that clients use to gain insight into and improve transparency across the investment process.

### About MSCI ESG Research Products and Services

MSCI ESG Research products and services are provided by MSCI ESG Research LLC, and are designed to provide in-depth research, ratings and analysis of environmental, social and governance-related business practices to companies worldwide. ESG ratings, data and analysis from MSCI ESG Research LLC. are also used in the construction of the MSCI ESG Indexes. MSCI ESG Research LLC is a Registered Investment Adviser under the Investment Advisers Act of 1940 and a subsidiary of MSCI Inc.

To learn more, please visit [www.msci.com](http://www.msci.com).

## Notice and disclaimer

The information contained herein (the "Information") may not be reproduced or disseminated in whole or in part without prior written permission from MSCI ESG Research. The Information may not be used to verify or correct other data, to create any derivative works, to create indexes, risk models, or analytics, or in connection with issuing, offering, sponsoring, managing or marketing any securities, portfolios, financial products or other investment vehicles. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance, analysis, forecast or prediction. MSCI ESG Research is provided by MSCI Inc.'s subsidiary, MSCI ESG Research LLC, a Registered Investment Adviser under the Investment Advisers Act of 1940. MSCI ESG Research materials, including materials utilized in any MSCI ESG Indexes or other products, have not been submitted to, nor received approval from, the United States Securities and Exchange Commission or any other regulatory body. None of the Information or MSCI index or other product or service constitutes an offer to buy or sell, or a promotion or recommendation of, any security, financial instrument or product or trading strategy. Further, none of the Information is intended to constitute investment advice or a recommendation to make (or refrain from making) any kind of investment decision and may not be relied on as such. The Information is provided "as is" and the user of the Information assumes the entire risk of any use it may make or permit to be made of the Information. NONE OF MSCI INC. OR ANY OF ITS SUBSIDIARIES OR ITS OR THEIR DIRECT OR INDIRECT SUPPLIERS OR ANY THIRD PARTY INVOLVED IN THE MAKING OR COMPILING OF THE INFORMATION (EACH, AN "INFORMATION PROVIDER") MAKES ANY WARRANTIES OR REPRESENTATIONS AND, TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, EACH INFORMATION PROVIDER HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING AND TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, IN NO EVENT SHALL ANY OF THE INFORMATION PROVIDERS HAVE ANY LIABILITY REGARDING ANY OF THE INFORMATION FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, PUNITIVE, CONSEQUENTIAL (INCLUDING LOST PROFITS) OR ANY OTHER DAMAGES EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. The foregoing shall not exclude or limit any liability that may not by applicable law be excluded or limited. Privacy notice: For information about how MSCI ESG Research LLC collects and uses personal data concerning officers and directors, please refer to our Privacy Notice at <https://www.msci.com/privacy-pledge>.